つながろう 湯浅！
子育て・家庭教育情報誌

すまいる2

平成27年6月
第３号
湯浅町
湯浅町教育委員会

第24回 農業教育賞 奨励賞受賞 湯浅中学校

賞状

湯浅町立湯浅中学校殿

奨励賞

貴校は平成二十六年度実施の第二回和歌山県農業教育賞において農業体験学習等本の実践の頭書のとおり認められましたので今の栄誉をたたえこれを賞します

中家 徹

湯浅中学校では、３年生は技術の授業で、特別支援学級“希望”では作業学習の授業で栽培を行ってきました。この農作業の体験を通して食生活に関心を持ち心身の健康を育んだ取り組みが高く評価され、このほど和歌山県農業協同組合中央会より表彰されました。

生徒たちは雑草の生い茂った畑の整地から始まり、苗植えや水やり、収穫した野菜を使っての調理実習、販売に至るまで年間を通して取り組みました。

このような体験で働く喜びや作業の大変さを学び、また役割分担を通して責任感や人とのコミュケーション力を高めることによって、自分自身に自信を持ち社会性を養うなど幅広い学習につなげられています。

すまいる家の一日
《たいへんだ!!“ゲーム&スマホ時代„》

子育てワンポイントアドバイス

昔はテレビ！今はゲーム！子どもたちの周りには誘惑がいっぱい！

家庭の中で“ゲームの時間”や“スマホのルール”について話し合っていますか？

高学年になるほどメールやライン、フェイスブックなどでのトラブルもよく耳にします。

ゲームやスマホの有害について、家庭で子どもたちと話し合ってみては！？

はまちゃんの簡単クッキング　No.3

《ベーコンと新ショウガの佃煮》

全量　665kcal

［材料］４人分

- ベーコン……８枚
- 新ショウガ……200g
- A
  - 砂糖……大さじ３
  - 酒……大さじ２
  - みりん……大さじ２
  - しょう油……大さじ２
- 酢……大さじ１
- 白ゴマ……小さじ１
- かつお節……少々

新ショウガは一度お湯で煮ているので、ほどよいマイルドな辛さになります。
子どもでもふりかけのようにして食べられますよ。

［作り方］

① 新ショウガを千切りにし、沸騰したお湯で煮立たせた後、ザルにとり10分ほど水にさらす。

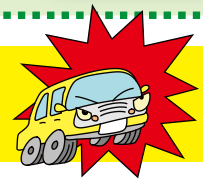
② ベーコンを5mm幅に切り、フライパンでサッと火が通るくらい炒める。（軽く焼き色がつく程度でOK）

③ 鍋にAの調味料をいれ沸騰したら①の水気を絞った新ショウガを入れて煮詰める。

④ 煮汁が半分になったら②のベーコンを入れる。（煮詰めすぎないこと。）

⑤ 煮汁がなくなったら酢、白ゴマ、かつお節を加えてできあがり。

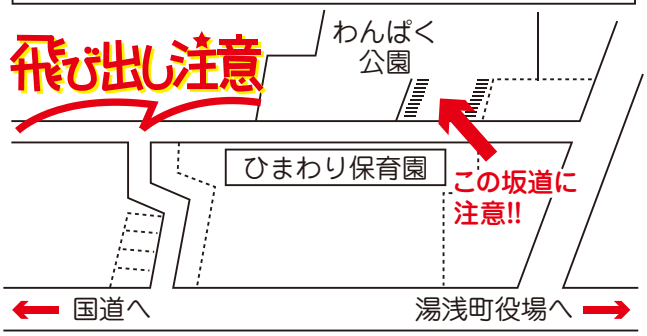
冷たい緑茶をかけ、冷やし茶漬けにして食べるのもおススメ!



注意!気をつけて!

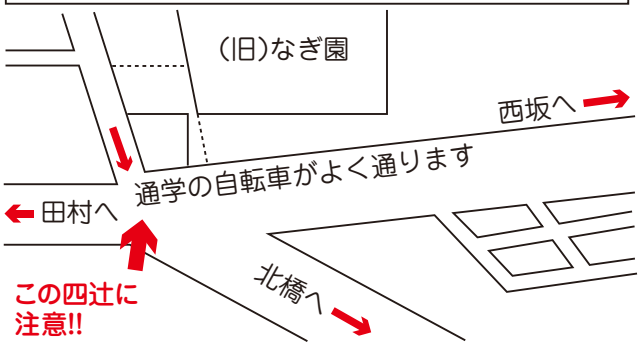
普段通り慣れている道に、危険がかくれていることがよくあります。
子どもたちに交通安全マナーを伝えていくことは大切ですが、大人も注意したいものです。今回は2ヶ所掲載していますが、特に車を運転される方はご注意下さい。

ひまわり保育園裏、わんぱく公園をはさむ道路

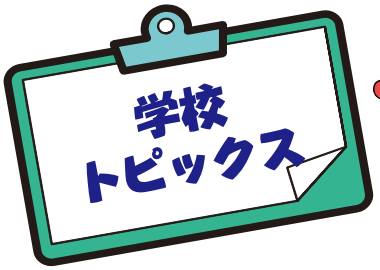


公園で遊んでいる子どもが道に向かう坂道を勢いよく駆け下りてくることが…。

（旧）なぎ園付近～栖原坂に向かう四ツ辻



カーブミラーはついていますが、登校時間帯は自転車通学の生徒が多く利用する道路なので注意が必要。



給食試食会「おいしいね!」
山田小学校

5月 25 日（月）山田小学校の給食試食会がありました。

この日の献立は【ご飯・牛乳・麻婆豆腐・ナムル】です。

校長室で給食センターの栄養教諭を交えて懇談し、保護者の方々も給食を試食しました。その後、子どもたちが教室で先生や友だちと美味しそうに給食を食べる様子を見学しました。

子どもがいつも「美味しい!」と言っていた麻婆豆腐を試食できてよかったです。いつも子どもが言うだけあって本当に美味しかったです。

今度は、子どもたちと一緒に教室で試食してみたいです。

［参加した保護者の方の感想より］

編集後記

３月の初めのこと。不注意でまたもや骨折をしてしまった…。
（前回は腰椎圧迫骨折、今回はちょっと地面に手をついただけで、左手首の骨折…）
周りの皆さんにも、大変ご迷惑をかけしてしまいました。
不自由なギプス生活にも少し慣れたころ、心配している娘に

「いゃ～私って、身体が華奢（きゃしゃ）やから、すぐに折れちゃうわ～」と冗談で言ったら
「自分の体重、支えきれんようになってるのとちがう？」
…クールな返事が返ってきました。
はい、以後じゅうぶん気をつけます…。

（今は 80% 回復したオカンより）

編集部では皆様の投稿を募集しております。

『子どもの楽しいひとこと』『子育ての思い出』『我が家のルール』等々、内容は何でも結構です。
又、感想等もどしどしこちらまでお寄せ下さい。

湯浅町　子育て・家庭教育支援チーム「とらいあんぐる」
●(代)TEL63―2525 子育て・家庭教育担当まで